

長岡市

「米百俵プレイス 北館」、事業者進出協定締結



▲右から日本パークングの玉井克彦社長、共栄堂の永田浩史社長、磯田達伸長岡市長、医療法人メディカルビットバレーの澁谷裕之理事長、医療法人崇徳会の田宮尚明理事、一般社団法人崇徳厚生事業団の加藤輝和事務局長

長岡市ではJR長岡駅の西側エリアのうち、大手通りの北側（坂之上町地区）で市街地の再開発事業が進められている。施行者は同市と地元の要請を受けた「UR都市機構」かつてこの地には「米百俵の精神」から生まれた国漢学校があった。それゆえ再開発エリアは「米百俵プレイス」と命名されている。

この再開発事業では、4つの街区に共同住宅や権利者の店舗で構成される「プレミスト大手通」のほか、「米百俵プレイス西館・東館」、駐車場やメディカルゾーンとなる「米百俵プレイス北館」が整備される。

これらのうち「米百俵プレイス北館」に進出する事業者の協定締結式が、8月26日にアオーレ長岡で行われた。5階建ての「北館」は2階から5階が駐車場（約300台収容）で、1階部分がメディカルゾーンとして整備される。

1階フロアで最も広い面積となるのがエル長岡クリニック（医療法人メディカルビットバレー・MBV）。2年前、市内に開設されたエルホームクリニックが、まちのド真ん中でも診療を開始する。

〈内科、皮膚科、小児を含む総合診療科が診療の中心となり、「まずはエルへ」の理念のもと働き盛りの会社員やそのご家族が仕事帰りや学校帰りでも立ち寄ることができると、皆さまのライフスタイルに合わせ夜間までの診療を行う予定にしています〉（MBVのHPより）

同じく1階部分には長岡市内の医療法人崇徳会が「認知症よろず相談・神経内科クリニック（仮称）」を、一般社団法人崇徳厚生事業団がインフォメーションコーナー（仮称）を、さらに共栄堂（新潟市江南区）が調剤薬局を整備する。2階から5階の駐車場は日本パークング（東京都）が事業者だ。

「北館」の駐車場は来年6月、1階のテナントは来秋のオープンを目指す。現代版の国漢学校である「米百俵プレイス」は、インベーションと医療の拠点として整備される。

エールクリニックが挑む

内科

リウマチ科

メデイカル レボリューション 医療革命

エール、まちなかに進出

2年前に開業した長岡市のエールホームクリニックだが、長岡市の中心市街地で整備が進む「米百俵プレイス」に進出し、来秋の開業を目指している。医師不足は深刻の度を深めているが、このクリニックでは医師が飛躍的に増えている。そして新しく全国に向け医師のリクルートを開始した。エールホームクリニックが確立しつつある新しい医療のスタイルが注目されている。

8月26日、アオーレ長岡で「米百俵プレイス北館」に進出する事業者の協定締結式が行われた（別掲記事）。「米百俵プレイス」はJR長岡駅から西に伸びる大手通りの北側で進む再開発エリアの総称だ。その名はこの地に「米百俵の精神」から生まれた国漢学校

があったことに由来する。

再開発エリアには共同住宅や権利者の店舗で構成される「プレミスト大手通」のほか、「米百俵プレイス西館・東館」さらに駐車場やメデイカルゾーンとなる「米百俵プレイス北館」が整備される。5階建ての「北館」は2階

から上が駐車場で、1階フロアで最も広い面積を占めるのがエール長岡クリニック（医療法人メデイカルビットバレー・MBV、澁谷裕之理事長）。2年前、市内に開設されたエールホームクリニックが、まちなかでも診療を開始する。

〈内科、皮膚科、小児科を含む総合診療科が診療の中心となり、「まずはエールへ」



▲10月で2周年を迎えるエールホームクリニック

の理念のもと働き盛りの会社員やそのご家族が仕事帰りや学校帰りでも立ち寄ることができると、皆さまのライフスタイルに合わせ夜間までの診療を行う予定にしています（MBV、エールホームクリニックのHPより）

エール長岡クリニックを含む「北館」1階のテナントは来秋のオープンを目指すという。調印式で磯田達伸市長はこう述べた。

「医療法人メディカルビットバレーから『長岡発の新たな医療環境づくり』を着実に実践していただいています。14万回を超えるワクチン接種に加え、発熱外来やPCR・抗原検査にも積極的に取り組んでいます。常勤医師も6名から9名に増員され、さらに全国リクルートを開始されたと伺っており、米百俵プレイスが目指す、人材育成によるまちづくりに積極的に取り組んでいただいているところですよ。」

これまで実践してきた医療イノベーションの取り組みをこれからますます進化していただけることを期待して、最大限のエールと支援を行っていきたく思います」

これほど医師不足が叫ばれている中で、このクリニックでは医師がほとんど加速度的に増えている。まさに奇跡と云うほかない。前出、磯田達伸長岡市長が紹介しているように、MBVではさらに医師のリクルートを開始したという。

エールホームクリニックのH

募集条件に総合医マインドとチームワーク

磯田達伸市長が賛辞と「エール」を送ったメディカルビットバレー（MBV）だが、10月8日、エールホームクリニックが開院2周年を迎える。当初、2人の医師により、内科、リウマチ科の2診療科でスタートした。その後、皮膚科、小児科、アレルギー科が追加され、医師が4人加わって6人体制になった。そして現在は医師が9人。

これは、Pには、「ドクターリクルート」の募集概要として、以下のような内容が掲載してある。〈当法人はすべての職種で少数精鋭の運営をしています。年功序列はまったくなく、チームワークと実力主義で高額報酬を実現しています。9人の常勤医師の平均年齢は41歳（2022年8月現在）で、総合内科専門医、小

児科専門医、皮膚科専門医、リウマチ専門医、アレルギー専門医、レーザー専門医、腎臓専門医、透析専門医、家庭医療専門医、がん治療認定医、プライマリケア認定医の資格を有し、専門的な外来診療を行っています。子育て中の2人の女性医師も大活躍しています〉

募集人員は10人だという。募集の条件には年齢や性別の記載がない。募集期間や診療科などはさておき、募集の条件で示された以下の項目がユニークだ。



▲医療法人メディカルビットバレーの澁谷裕之理事長

〈総合医マインドを持つ方
・チームワークを大切にす
方・医師として6年以上
の実務経験・常勤医のみ

「とりあえずエール」

これほどの医師不足の中、エールホームクリニックでは、ほとんど加速度的と言っている。ここが同クリニックの不思議なところであり、核



▲エールホームクリニックの待合室

「医師がいなくなれば、それはそのまま経営を直撃してしまいます。そのため何がなんでもリクルートしなければという話をよく聞きます。そんな時には人材派遣会社から派遣してもらうことが多いですよ」（同）
医師がいない医療

機関など考えられない。医師の確保を人材派遣に頼っているようでは、医療機関の存在そのものを他人に頼っているようなものだ。
「医療機関は医師がエンジンですから、医師の確保を、元栓をひねるようにコントロールされてしまうということであり、それは一経営者としていやだと、ずっと思っていました」（同）
やや横道に入るが、エールホームクリニックは開設当初から順風満帆だったわけではない。当初は医療部門に強いゼネコン関係者が、「あそこは客がいませんよ」と、こっそり本誌に教えてくれたほど。

「昨年」10月に開業し、年が明けて1月、2月でも1日の患者さんが4人、5人で、医師やスタッフの数が多いう日もありました。患者は

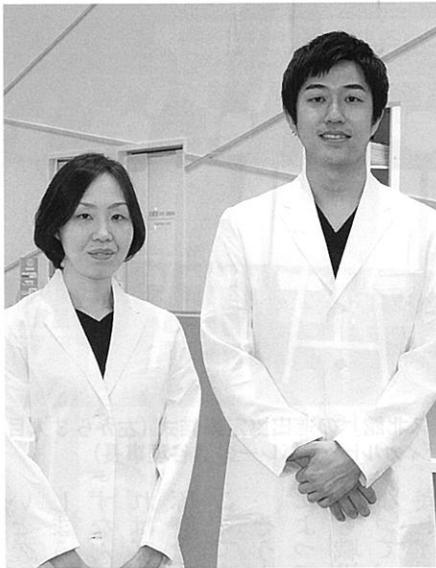
いない、お金はない、当時は信用もなかったわけですから、何もないどころか、マイナスから始めたようなものです」
今は60台以上確保されている駐車場が満杯になり、さらに駐車場の警備員を常時配置せざるを得ないような状況になった。それはクリニックの開設とほぼ同時期に国内を襲ったコロナ禍の中で、コロナ

が評価された結果でもある。冒頭、長岡市の磯田達伸市長がエールホームクリニックでのワクチン接種回数を14万回超と紹介していた。これも民間のクリニックとしてギネスものと言われるほど。9月21日現在では15万回超となった。これらはすべて医師が打った数で、内科医である澁谷理事長の接種回数は3万回を超えている。



▲新型コロナワクチンを打つ 澁谷裕之理事長

医師が全力でコロナ対応に当たったことのほか、澁谷理事長が強調する医師同士による「シナジー（相乗）効果」が評価されたことでもある。「シナジー（相乗）効果」とは、例えば皮膚科や小児科など、それぞれの専門医である医師が、チームで患者を診るスタイルによって得られる効果のこと。「シナジー診療」について、まだ開業する前、澁谷理事



▲エールワクチンセンターのセンター長、田村真麻医師(左)と鈴木竜太郎医師(右)

長はこう語っていた。「例えばアトピーの子どもがいたとします。最初は小児科で診るようになるでしょうが、難しければ皮膚科で診ます。皮膚の病気は内臓の疾患からくることもありませうから、そういう場合は、その場で別の専門医の先生がすぐに診る。小児科にかかるのは風邪などの感染症が多いわけですが、親も具合が悪いことが多いです。親も具合が悪いことが多いですから、内科の医師と一緒に診ることもできる。いくつもの医療機関を受診せずとも一か所で診ることができ

る。しかも医師同士が互いに仲がいいのでスムーズにいく。これを上手な造語ですが、シナジー(相乗効果)診療などと言っています」「シナジー(相乗)効果」は医師だけのものではない。エールホームクリニックでは新型コロナウイルスのワクチン接種について、すべて自前のスタッフで実施した。予約のノウハウを生かし、旅行会社が医療機関でワクチン接種の事務を受託していることもある。エールホームクリニックでは、こうした事務的な部門を

含め、一から立ち上げた。アウトソーシングも医療コンサルもゼロで実施することで、経費を抑え込むこともできる。ドクターや看護師、あるいは医療事務などのスタッフがタッグを組んで、すべてを自前でこなすことで、「シナジー効果」が生じ、医療の質も高まる。そんな好循環が生まれたという。2年間のこうした努力がエールホームクリニックに対する信頼感を醸成し、「まずはエールへ」の理念につながったようだ。くだいた言い方をすれば、ちよつと体調がすぐれなければ、「とりあえずエール」ということだ。かくして「1日の患者さんが4人、5人だった」というエールホームクリニックに患者が集まるようになった。それは「エールスタイル」の医療が受け入れられたことであり、ニーズがあることが証明されたことでもある。

企業理念で医師をリクルート

話を医師のリクルートにもどしたい。医療機関にとって医師確保はまさに死活問題だ。例えばこれを人材派遣会社に委ねているとすれば、生殺与奪の権を他者に預けているようなものだ。冒頭に紹介したように、メディカルビットバレーではエールホームクリニックに続き、まちなかの「米百俵プレイス」で新しく「エール長岡クリニック」が開業を予定している。「(いわばエールスタイルが)ニーズがあるし、これから(事業を)大きくしていかなければならない時に、医師はすべて自前で集めなければ、自分たちの企業理念に共感してくれる人を全国から集めなきゃダメなんだと気づいたんです」(メディカルビットバレー、澁谷裕之理事長)食糧や半導体の原料を大

田
工場
店舗
その他

塗替え

ならお任せ下さい!

外壁、屋根の塗替え
足場架設・雨樋取替え
外壁の張替え
リフォーム全般・他

昭和39年創業 豊富な実績 / 責任施工

株式会社 金田塗装工業

TEL 025-258-5533

本社/新潟市北区下大谷内378-42
mail/info@kaneda-toso.co.jp (24時間OK)

ISO9001:2015 取得

大国の軍門に下らざるを得ない。やはり食糧や資源は自分で確保しなければならぬ。メディカルビットバレー（MBV）による医師確保は、いわば食料安保のようなものだ。

「いい医師を集めることができれば、ほかの医療機関だって注目することになると思います。そして自分たちもそのように医師を確保していかな



▲「米百俵プレイス北館」の進出協定締結式（左から3人が医療法人メディカルビットバレーの濫谷理事長）

いと差がついてしまうと思うはずなんです。それは互いに切磋琢磨するということですね。そうすることによって、働く人も職場もよくなって、医療の底上げを実現していくということです。医療は様々な分野とつながっています

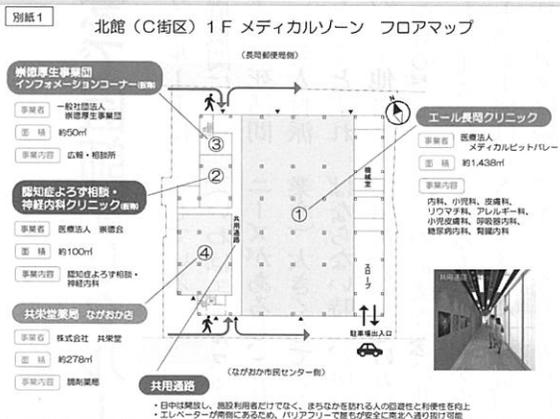


▲「米百俵プレイス」の建物配置図（長岡市の報道発表資料より）

師は受験勉強とか一生懸命にやっていますから、もともと競争が好きなのが多いはずなんです。医師免許を取ってしまうとゴールみたいな感覚の人も多い印象がありますが、そうではなくて、免許を取得してからが本番で、そこからのようにいい仕事をしていくかなんです。そのためには個人の持ち分はあるけれど、チームワーク



▲「エール長岡クリニック」が開業を予定する「米百俵プレイス北館」の完成予想図（長岡市の報道発表資料より）



▲「米百俵プレイス北館」1階テナントの配置図（長岡市の報道発表資料より）

